認　定　書

国住参建第 552 号
令和 5 年 7 月 20 日

因幡電機産業株式会社
代表取締役社長　喜多 肇一 様

国土交通大臣　　斉藤　鉄夫

下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
   PS060WL-0726-1

2. 認定をした構造方法等の名称
   ケーブル・鋼製電線管／ポリオレフィン系フィルム付黒鉛含有ブチルゴムシート裏張アルミニウムはく張ガラスクロス・耐熱シール材充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

3. 認定をした構造方法等の内容
   別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 構造名：

ケーブル・鋼製電線管／ポリオレフィン系フィルム付黒鉛含有ブチルゴムシート裏張アルミニウムはく張ガラスクロス・耐熱シール材充てん／壁耐火構造／貫通部分(中空壁を除く)

2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項　目		仕様
開　口　部	形状	円形
	面積	0.0201m^2(φ160)以下
占　積　率 (開口面積に対する鋼製電線管の断面積の割合)		93.3%以下 ただし、鋼製電線管内面積に対するケーブル・樹脂製電線管の断面積総合計の割合：69.0%以下
貫通する壁の構成等		片面強化せっこうボード重張/軽量鉄骨下地間仕切壁 (国土交通大臣認定：FP060NP-0007、FP060NP-0046、FP060NP-0049、FP060NP-0071、FP060NP-0075、FP060NP-0185、FP060NP-0189、FP060NP-0192、FP060NP-0233、PF060NP-0250、FP060NP-0258、FP060NP-0294、FP060NP-0345、FP060NP-0360、FP060NP-0399(1)、FP060NP-0399(2)、FP060NP-0427(1)、FP060NP-0427(2)、FP060NP-0441(1)、FP060NP-0441(2)、FP060NP-0454、FP060NP-0487) 厚さ42以上

3．材料構成

1)主構成材料

（寸法単位：mm）

<table>
<tr><th colspan="3">項　　目</th><th>仕様</th></tr>
<tr><td colspan="3">総有機量</td><td>3.946kg/m 以下</td></tr>
<tr><td colspan="3">総導体断面積</td><td>1460.0mm^2 以下</td></tr>
<tr><td colspan="3">鋼製電線管</td><td>・規格　JIS C 8305
・外径　113.4 以下
・肉厚　3.5 以下
・長さ　160.0 以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">鋼製電線管・合成樹脂可とう電線管付きケーブル</td><td rowspan="2">合成樹脂可とう電線管付きケーブル</td><td>合成樹脂可とう電線管</td><td>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする
(1)合成樹脂製可とう電線管
・規格　JIS C 8411
・外径　PF 管/36.5 以下
CD 管/27.5 以下
(楕円さや管は長径が 36.5 以下)
・内径　PF 管/28.0 以下
CD 管/22.0 以下
(楕円さや管は長径が 27.5 以下)
・材質　1)、2)のうち、いずれか一仕様とする
1)ポリエチレン系樹脂
2)架橋ポリエチレン系樹脂
・本数　外径 27.5～36.5 の場合：1 本以下
外径 27.5 以下の場合：2 本以下
(2)硬質塩化ビニル電線管
・規格　JIS C 8430
・外径　36.5 以下
・本数　外径 36.5 以下の場合：1 本以下
外径 27.5 以下の場合：2 本以下</td></tr>
</table>

項　目			仕様
鋼製電線管・合成樹脂可とう電線管付きケーブル（つづき）	合成樹脂可とう電線管付きケーブル（つづき）	ケーブル	・規格　次の規格のうち、いずれか一仕様とする JIS C 1502, 1610, 3306, 3307, 3312, 3317, 3323, 3327, 3340, 3342, 3401, 3401 準拠, 3407, 3408, 3503, 3501, 3501 準拠, 3502, 3603, 3605, 3605 準拠, 3606, 3612, 3621, 3662, 3663, 6020, 6021 準拠, 6850 JCS　第 224 号,　第 271 号 A, 第 364 号 A, 第 376 号 A, 第 381 号, 第 396 号, 第 396 号 A, 第 402 号, 第 416 号, 第 418 号 B, 第 419 号 A, 第 420 号, 第 421 号, 第 422 号, 第 423 号, 第 426 号, 第 427 号, 第 3271 号, 第 3271 号準拠, 第 3346 号, 第 3368 号, 第 3403 号, 第 3407 号, 第 3410 号, 第 3416 号, 第 3417 号, 第 3501 号, 第 4258 号, 第 4271 号, 第 4316 号, 第 4329 号, 第 4347 号, 第 4348 号, 第 4353 号, 第 4355 号, 第 4364 号, 第 4364 号準拠, 第 4369 号, 第 4370 号, 第 4376 号, 第 4395 号, 第 4396 号, 第 4398 号, 第 4406 号, 第 4418 号, 第 4419 号, 第 4419 号準拠, 第 4425 号, 第 4426 号, 第 4427 号, 第 4501 号, 第 4502 号, 第 4504 号, 第 4505 号, 第 4506 号, 第 4507 号, 第 5058 号, 第 5224 号, 第 5287 号, 第 5327 号, 第 5381 号, 第 5382 号, 第 5383 号, 第 5402 号, 第 5412 号, 第 5420 号, 第 5421 号, 第 5422 号, 第 5423 号, 第 5424 号, 第 5381 号準拠, 第 5501 号, 第 5502 号, 第 5504 号, 第 5504 号準拠, 第 9068 号, 第 9070 号, 第 9072 号, 第 9069 号, 第 9071 号, 第 9073 号, 第 9074 号, 第 9075 号, 第 9076 号 JCSC 第 68 号, 第 70 号, 第 71 号, 第 72 号, 第 74 号, 第 75 号, 第 76 号, 第 3502 号, 第 5382 号, 第 9074 号, 第 9075 号, 第 9076 号, 第 3271 号準拠, 第 9072 号準拠 LAN ケーブル EIA/TIA 568A, 568B(IEEE802.3),　568A, 568B(IEEE802.3)準拠, 568A-B.2, 568B-B.2(IEEE802.3),　568A-B.2, 568B-B.2(IEEE802.3)準拠 ANSI EIA/TIA 568A-B.2 高周波同軸ケーブル JAN-C-17,　MIL-C-17,　DSP-C-3102,　電力規格 D-102,　JCAA 準拠 耐火電線・耐熱電線 平成 9 年消防庁告示第 10 号, 第 11 号

（寸法単位：mm）

<table>
<tr><th colspan="3">項　　目</th><th>仕様</th></tr>
<tr><td rowspan="2">鋼製電線管・合成樹脂可とう電線管付きケーブル（つづき）</td><td rowspan="1">合成樹脂可とう電線管付きケーブル（つづき）</td><td>ケーブル（つづき）</td><td>・外径　(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする
(1)円形　φ13.5以下(仕上外径30以下)
(2)平形　総断面積398.2mm²以下
・導体断面積　38mm²/本以下
・導体種類　(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする
(1)銅
(2)アルミニウム
(3)ガラス繊維(光ファイバケーブル)
・絶縁体種類　(1)～(5)のうち、いずれか一仕様とする
(1)ポリエチレン系樹脂
(2)架橋ポリエチレン系樹脂
(3)塩化ビニル系樹脂
(4)ゴム系樹脂
(5)なし
・絶縁体厚さ　1.2以下
・シース種類　(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする
(1)ポリエチレン系樹脂
(2)塩化ビニル系樹脂
(3)ゴム系樹脂
(4)なし
・シース厚さ　1.7以下
・介在物　(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする
(1)紙
(2)ジュート
(3)ポリプロピレン
(4)なし
・本数　総有機量を各ケーブルの有機量で除した数以下且つ総導体断面積を各ケーブルの導体断面積で除した数以下</td></tr>
<tr><td></td><td>ケーブル</td><td>・規格　上記ケーブルと同じ
・外径　(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする
(1)円形　φ39.0以下/本(仕上外径85以下)
(2)平形　総配線断面積5068.0mm²以下
・導体断面積　325mm²/本以下
・導体種類　上記ケーブルと同じ
・絶縁体種類　上記ケーブルと同じ
・絶縁体厚さ　4.5以下
・シース種類　上記ケーブルと同じ
・シース厚さ　3.1以下
・介在物　上記ケーブルと同じ
・本数　上記ケーブルと同じ</td></tr>
</table>

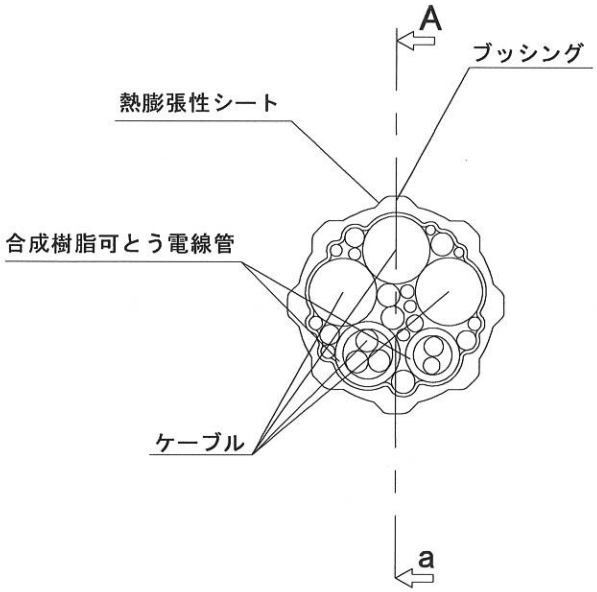
（寸法単位：mm）

<table>
<tr><th colspan="2">項　目</th><th colspan="4">仕様</th></tr>
<tr><td rowspan="20">防火措置材</td><td rowspan="17">熱膨張性シート</td><td colspan="2">材質</td><td colspan="2">黒鉛含有ブチルゴムシート裏張アルミニウムはく張ガラスクロス</td></tr>
<tr><td colspan="2">寸法</td><td colspan="2">・総厚さ　$2.11_{\pm 0.2}$以上
・幅　$150_{\pm 5}$以下
・かぶり寸法　電線管側：ﾌﾞｯｼﾝｸﾞ長+9.5以上
ｹｰﾌﾞﾙ側：20以上</td></tr>
<tr><td colspan="2">設置箇所</td><td colspan="2">電線管端部（両側又は片側）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">基材</td><td>材質</td><td colspan="2">アルミニウムはく張ガラスクロス</td></tr>
<tr><td>厚さ</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="6">シート</td><td>材質</td><td colspan="2">黒鉛含有ブチルゴム</td></tr>
<tr><td>比重</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>厚さ</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>組成
（質量%）</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">裏面材</td><td>材質</td><td>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする
(1)あり（幅$30_{\pm 3}$以下）
1)～4)のうち、いずれか一仕様とする
1)ﾎﾟﾘｵﾚﾌｨﾝ系樹脂ﾌｨﾙﾑ
2)塩化ﾋﾞﾆﾙ系樹脂ﾌｨﾙﾑ
3)ｼﾘｺｰﾝ系樹脂ﾌｨﾙﾑ
4)不織布
(2)なし</td></tr>
<tr><td>厚さ</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">耐熱シール材（充てん材）</td><td rowspan="2">材質</td><td>かさ比重</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>組成（質量%）</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>使用箇所
（使用量）</td><td colspan="3">壁と鋼製電線管の隙間を密に充てん
（壁厚方向片側42以上）</td></tr>
</table>

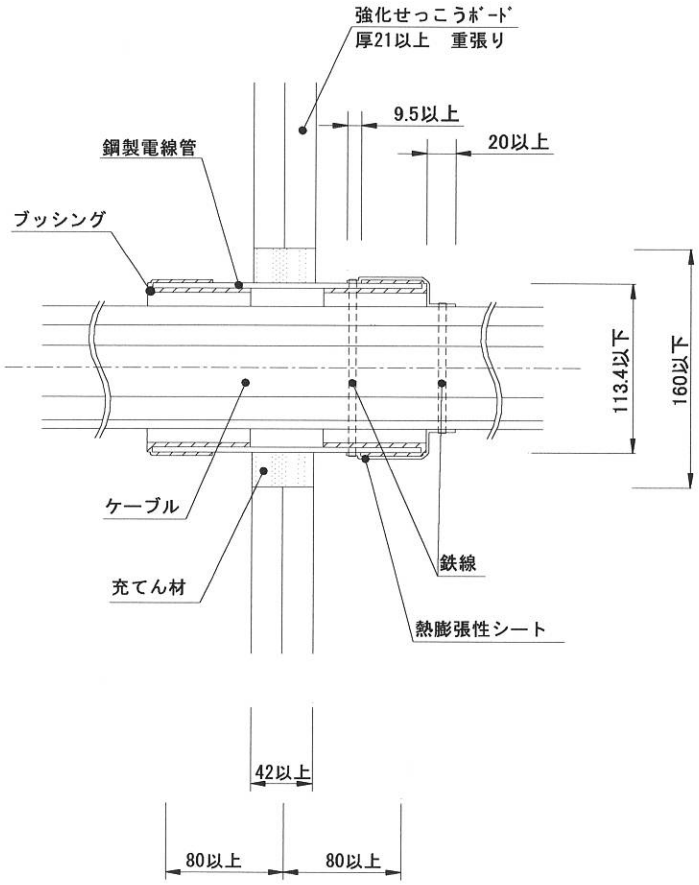
2)副構成材料　　(寸法単位：mm)

<table>
<tr><th colspan="2">項　目</th><th colspan="2">仕様</th></tr>
<tr><td rowspan="5">ブッシング</td><td colspan="2">材質</td><td>(1)～(7)のうち、いずれか一仕様とする
(1)ポリオレフィン系樹脂
(2)ポリカーボネート系樹脂
(3)ABS系樹脂
(4)鋼製(鉄，鋳鉄)
(5)金属製電線管用の付属品
(JIS C 8330：絶縁ブッシング2号)
(6)鋼管亜鉛めっき
(7)なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">寸法</td><td>外径127以下、長さ70以下、厚さ10以下</td></tr>
<tr><td rowspan="2">鉄線</td><td>材質</td><td>(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする
(1)鋼製
(2)ステンレス鋼製
(3)銅製</td></tr>
<tr><td>寸法</td><td>φ1.1以上</td></tr>
</table>

4．構造説明図　　（寸法単位：mm）



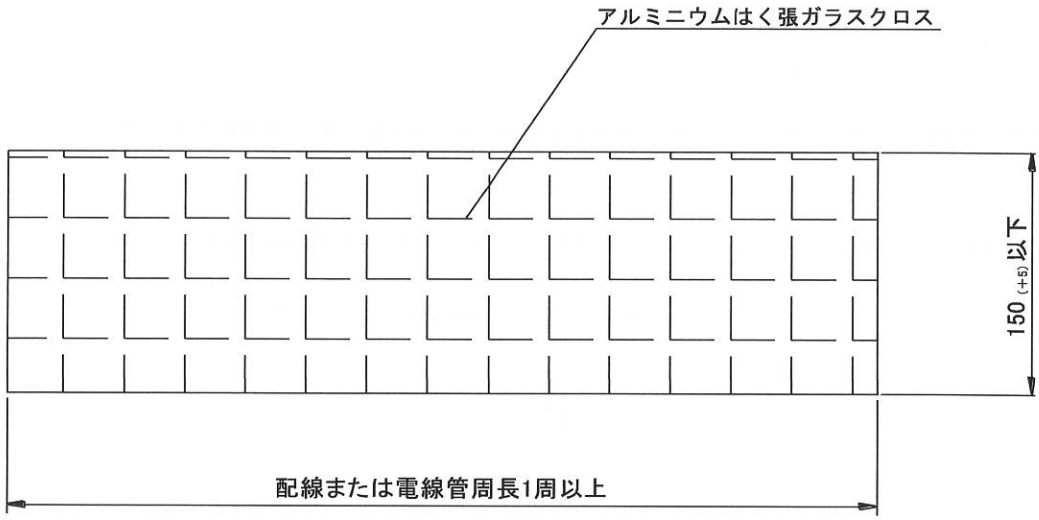
正面図



断面図

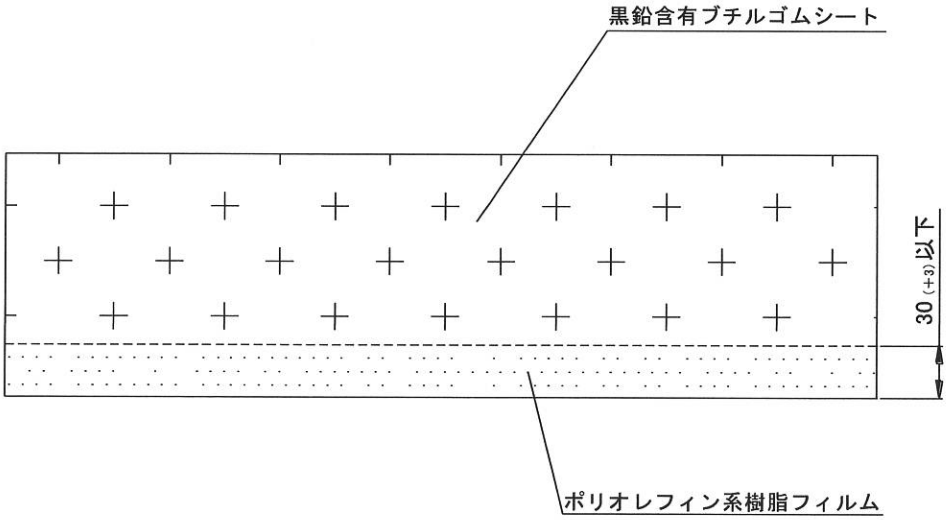
注）寸法および材料構成は２および３のとおり

・　熱膨張性シート　　（寸法単位：mm）



表面側

断面側



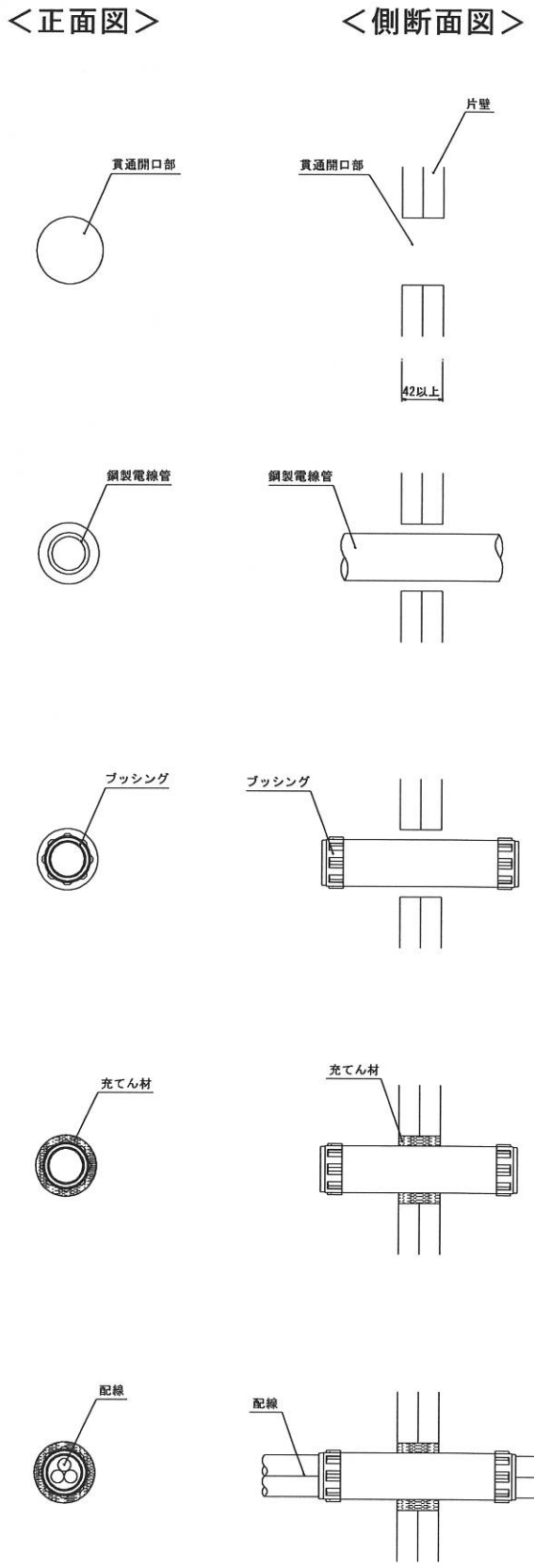
裏面側

注）寸法および材料構成は２および３のとおり

5．施工方法等

（寸法単位：mm）

施工手順および施工図を以下に示す。



①貫通孔を設ける

開口径を考慮し貫通穴を設ける。

②電線管の敷設

鋼製電線管を敷設する。

③ブッシングの取付け

必要に応じて電線管の先端にブッシングを取付ける。

④埋め戻し

管通孔隙間に、充てん材を充てんする。

⑤ケーブルの配線

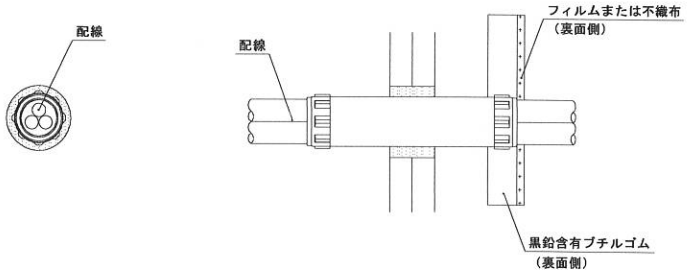
ケーブルを配線（通線）する。

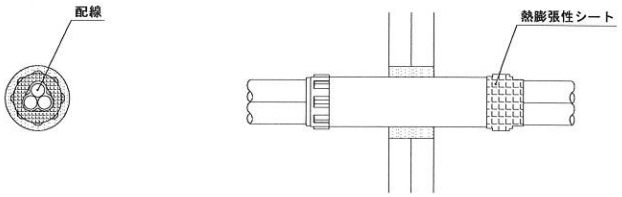
注）寸法および材料構成は２および３のとおり

⑥熱膨張性シートの巻き付け

ブチルゴム系熱膨張材側(裏面側)を
ケーブル側に向け、ケーブルに沿わせる
ように巻きつける。

シートは1周以上になるようにして
ブッシングをラップさせて巻き付ける。
(片側もしくは両側)

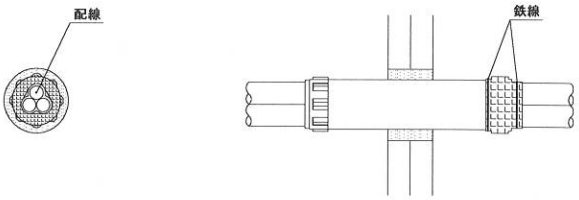




⑦鉄線の巻き付け

右図のように2箇所しっかりと
巻き付けて固定する。

この時、貫通隙間から光が漏れない
ように注意すること。



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり